令和6年産 キウイフルーツ栽培こよみ (家庭果樹用)

JA尾張中央 | 営農指導課

| | | 1 | | | | | | | JA电版中央 | 呂辰拍等砞 |
|------|---------|-----|----------------|-----------|------------|-----------------------|---|----------------|--|--------------|
| 時期 | 生育/管理 | 使用日 | 対象病害虫 | | RAC コード | 濃度 | 薬剤名 (収穫前日数/回数) | 水100ℓ 当たり薬量 | 肥料名 | 1㎡あたり 施用量 |
| 1 2月 | 休眠期 | / | | | | | | | フルミックス876 ヌは | 120g |
| 3月 | 発芽前 | / | | | | | | | 園芸有機A801号888 | 1205 |
| 4月 | 出蕾前(中旬) | / | 花 腐 細 菌か い よ う | 病病病 | 25 | (展着 ★アグし 1,000倍 | 前 加 用) ノプト水和剤 (90日/4回) | 100g | ◎記載の肥料が無い場合には、 窒素成分が同じくらいの肥料を施用して ください。 休眠期の12月から発芽前の3月にいずれた | |
| 5月 | (中旬) | / | 果 実 軟 腐灰 色 か び | 病病病 | 2 | (展着 ロブラ 1,000倍 | 剤 加 用) ー ル 水 和 剤 (前日/4回) | 100g | を施用してください。 果実肥大期の6月・収穫前の10月に化成肥料を施 用してください。 参 考 <有機質> ネオフルミックス(8·7·6) 〈化 成〉 グリーン化成444(14·14·14) 園芸化成(園芸特1号)(14·8·13) | |
| | | | クワシロカイガラ | ラムシ | 9B | (展着 コルト 3,000倍 | · 剤 加用) 類 粒 水 和 剤 (前日/3回) | 33g | | |
| 6月 | 開花後(中旬) | / | 果実軟腐 | 病 | МО7 | (展着 ★ベルク 1,000倍 | 剤加用) フート水和剤 | 100g | グリーンアタック 14 · 8 · 10 | 20g |
| | | | カメムシキイロマイ | ' 類 コガ | ЗА | ★ ア デ 2,000倍 | ィオン乳剤 (7日/5回) | 5 Occ | | |
| 1 0月 | 収穫直前 | / | 果実軟腐 | 病 | 1 | (展着 トップ: 1,000倍 | 前別加用) ジンM水和剤 (前日/5回) | 100g | グリーンアタック 14 · 8 · 10 | 20g |

(備 考)

- *5割ぐらいのリスクを考えた場合の、防除指針です。
- *RACコードは、農薬の系統を表すもので、同じ記号の農薬は同系統の農薬です。
- * RACコードの活用により、薬剤抵抗性をつけないよう、違う系統の農薬でローテーション防除をしましょう。
- *★は、防除をした方が良い時期です。
- *薬剤を混合する場合、原則 展着剤→乳剤→フロアブル→水和剤の順に混ぜる。
- *防除薬剤には、展着剤(アグラー:水100ℓ当り10cc)を最初に混ぜてください。
- ①病気の発生した果実や枝を放置しておくと、病原菌の越冬場所となるので穴を掘って埋めるなど適切に処分する。
- ②アグレプト水和剤は、ブドウにかかるとブドウが無核化するので注意する。
- *施肥基準の作成にあたって、生産部会、産直部会、愛知県施肥基準を参考にしました。 目標収量(2,000kg)、窒素成分(15kg)、成木本数(40本)で施肥設計しました。 基肥として、12月なら緩効性・3月なら速効性肥料を施用してください。 なお、園地観察・収量・土壌診断結果を参考に適正な施肥を行って下さい。

令和5年10月作成